

2018年度日本建築学会大会(東北)
構造部門(SCCS)
パネルディスカッション資料

鋼・コンクリート機械的ずれ止め設計指針に向けて

—合成構造の基本接合要素における設計と今後の展開—

2018年9月

日本建築学会 構造委員会

鋼コンクリート合成構造運営委員会

016.7

49)

2018

鋼・コンクリート機械的ずれ止め設計指針に向けて

— 合成構造の基本接合要素における設計と今後の展開 —

目次

主旨説明	1
堺 純一 (福岡大学)		
主題解説		
① 鋼・コンクリート機械的ずれ止め構造設計指針の概要	2
福元 敏之 (鹿島建設)		
② 頭付きスタッド		
(1) 補正係数を用いた頭付きスタッドの基本耐力評価	8
島田 侑子 (千葉大学), 福元 敏之, 城戸 將江, 鈴木 英之, 馬場 望, 田中 照久		
(2) 頭付きスタッドの各種設計法	15
城戸 將江 (北九州市立大学), 島田 侑子, 馬場 望, 鈴木 英之		
③ 孔あき鋼板ジベル		
(1) 孔あき鋼板ジベルの設計・基本耐力評価 (終局耐力評価式)	21
福元 敏之 (前掲), 馬場 望, 田中 照久		
(2) 孔あき鋼板ジベルの設計法	27
田中 照久 (福岡大学), 馬場 望, 福元 敏之		
④ 建物適用と今後の展開		
(1) 建物適用と今後の展開 ~実務者の立場から~	36
鈴木 英之 (安藤ハザマ)		
(2) 建物適用と今後の展開 ~研究者の立場から~	44
馬場 望 (大阪工業大学)		
(3) 新たな機械的ずれ止め	60
田中 照久 (前掲)		

※2018年9月パネルディスカッション

司会：城戸 將江 (北九州市立大学), 副司会：島田 侑子 (千葉大学)

記録：島田 侑子 (前掲), まとめ：馬場 望 (大阪工業大学)